

平成 28 年度 神戸市化学物質環境実態調査結果

神戸市では、平成 10 年度より内分泌かく乱化学物質について市内の状況を把握するため、独自に調査を行っており、平成 21 年度より調査対象を広げ、内分泌かく乱作用以外に残留性や使用実態を考慮し、広く化学物質全般の実態把握を行っている。

平成 28 年度は、農薬（殺虫剤）として広く使用されているネオニコチノイドについて、12 河川 16 地点で水質調査を行った。

- (1) 調査時期 平成 28 年 8 月（年 1 回）
 (2) 調査地点と結果

測定地点 No.	河川名	地点名	アセタミプリド	イミダクロプリド	クロチアニジン	チアメトキサム
			ng/L	ng/L	ng/L	ng/L
1	武庫川	亀冶橋	0.32	9.7	23	2.6
2	武庫川	大岩橋	0.45	9.5	23	3.0
6	有馬川	月見橋	1.6	11	22	1.9
14	淡河川	万代橋	1.4	68	59	3.9
16	志染川	坂本橋	0.031	8.8	4.0	<0.084
18	明石川	藤原橋	0.52	13	53	7.1
19	明石川	玉津大橋	12	12	29	<0.084
20	明石川	上水源取水口	0.50	15	32	18
25	伊川	水道橋	0.053	2.6	15	0.56
27	伊川	二越橋	0.16	8.0	10	1.3
32	住吉川	住吉川橋	<0.018	<0.066	9.0	<0.084
36	都賀川	昌平橋	<0.018	1.2	1.2	0.19
38	生田川	小野柄橋	0.026	0.60	<0.12	0.47
41	新湊川	南所橋	0.54	2.7	1.8	0.34
47	妙法寺川	若宮橋	0.022	1.0	3.2	1.1
51	福田川	福田橋	0.038	4.8	44	9.6

参考 1 他の水域における実測値の最大値 (ng/L)

環境省資料 (*)	全国 7 地点の水田周辺および森林内の、ため池および水路	1	19	53	163
-----------	------------------------------	---	----	----	-----

(*) 「平成 27 年度農薬の環境影響調査(概要)」環境省農薬環境管理室 平成 28 年 5 月 23 日より引用

参考 2 調査物質の概要

ネオニコチノイド系農薬	アセタミプリド	<ul style="list-style-type: none"> ・害虫類の神経に作用し、駆除する農薬。 ・この農薬の使用に伴い、ミツバチやトンボ等が減少しているのではないかとの疑念の声がある。 ・家庭の園芸用農薬、殺虫剤等の成分として使用されているものもある。
	イミダクロプリド	
	クロチアニジン	
	チアメトキサム	